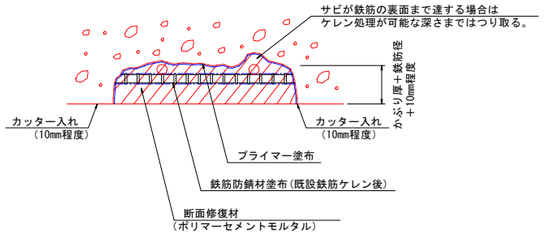
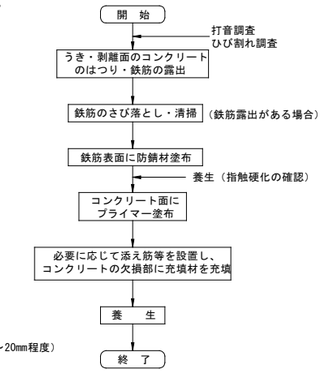
(共通工)RC部材補修詳細図(その1)

断面修復工，びわれ注入工，ひびわれ充てん工 詳細図

断面修復工詳細図



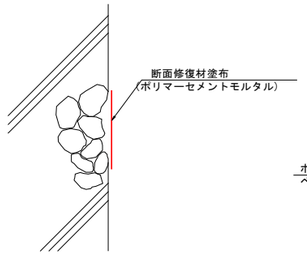
〔断面修復工法の施工要領〕



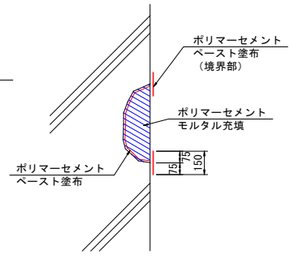
注）施工時に現地実測の上、数量を確定すること。
注）使用する材料の仕様に基づいて施工すること。
注）補修部縁端は、フェザーエッジが生じないようにカッターで切れ込みを入れること。
注）はつり深さは適宜調整するものとし、脆弱部は完全に除去して充填を行うこと。
注）鉄筋がある場合は、既設鉄筋の背面、既設部材の租骨材寸法程度まで除去する。（10～20mm程度）
注）はつりを行い、鉄筋が確認された場合は錆を除去した後、鉄筋防錆材を塗布すること。
注）コテ等で下地に3～5mm厚みでしごき塗りを行い、1回の塗厚20mm程度で塗り重ねていくこと。

豆板修復工(参考図)

※ 粗骨材が露出しているが、表層の粗骨材を叩いても剥落しない程度の場合。
（深さの目安：1～3cm程度）

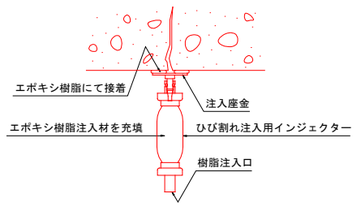


※ 粗骨材が露出し、表層の粗骨材を叩くと剥落するものもある程度の場合。連続的に剥落しない程度。
（深さの目安：1～3cm程度）

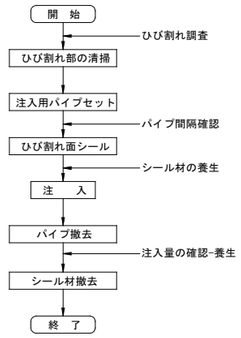


注）施工時に現地実測の上、数量を確定すること。
注）軽微な豆板部を補修する場合は、ポリマーセメントモルタル塗布で補修すること。
注）粗骨材露出部で叩くと剥落する部分がある場合は、事前に除去して健全部を露出し、ポリマーセメントペーストを塗布後、ポリマーセメントモルタル等を充填すること。
注）上記以外に豆板部の損傷が深い場合や著しい場合は、適宜、劣化部分を取り除き、断面修復を行うこと。

ひびわれ注入工詳細図



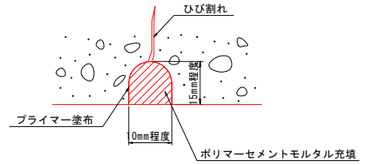
〔ひび割れ注入工法の施工要領〕



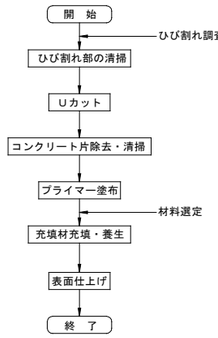
注）施工時に現地実測の上、数量を確定すること。
注）基本的にひび割れ幅0.2～1.0mm以下を対象にひびわれ注入による補修とする。
注）遊離石灰部は研掃して状態を見極めて、補修すること。
注）損傷状況により補修工法に変更が生じる場合は、監督員と協議の上、最終決定すること。

ひびわれ充填工法詳細図

(Uカット工法)



〔Uカット工法の施工要領〕



注）施工時に現地実測の上、数量を確定すること。
注）充填材は、ポリマーセメントモルタルとする。
注）基本的にひび割れ幅1.0mm以上及び遊離石灰等で注入が困難な箇所を対象とする。
注）遊離石灰部は研掃して状態を見極めて、補修の必要性を判断すること。
注）損傷状況により補修工法に変更が生じる場合は、監督員と協議の上、最終決定すること。

【中相橋】

工事名	令和６年度　中相橋修繕工事		
路線名等	町道鯖瀬線		
工事箇所	海部郡海陽町浅川字中相(中相橋)		
図面名	(共通工)RC部材補修詳細図(その1)		
縮尺	－	図面番号	7 / 13
会社名	四国建設コンサルタント株式会社		
事業者名	海陽町役場　建設防災課		